

都市再生整備計画(第4回変更)

い り き お ん せ ん ば ち く
入来温泉場地区

か ご し ま け ん さ つ ま せ ん だ い し
鹿児島県 薩摩川内市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	鹿児島県	市町村名	さつま、せんだいし、薩摩川内市	地区名	いりき、おんせんば 入来温泉場	面積	14.0 ha
計画期間	平成18年度～平成22年度	交付期間	平成18年度～平成22年度				

目標
大目標:市民の良好な居住空間の創出と共に温泉街としての秩序ある発展。 目標1:市民の生活拠点としての安全で快適な居住空間の形成。 目標2:温泉場の歴史ある温泉を観光資源として有効に活用し、地域振興を図る。
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
本地区は、薩摩川内市入来町の中心市街地で人口集積が最も進んだ地区であり、地区名のとおり、700年の歴史ある温泉に恵まれ、古くから温泉街として賑わってきたが、狭隘な道路沿いに無秩序な都市が形成され木造住宅が密集すると共に地区内の湯ノ山付近の急傾斜地崩壊危険箇所や釣尾川沿いの崖上に住宅があり防災上の危険性が極めて高い。また、同時に都市施設の整備が遅れ商店街の空洞化を招くと共に観光・産業資源の温泉も十分活かされていない状況である。このことから、主要幹線道路として都市計画道路の新設、一級河川釣尾川の河川改修とともに、区画道路、公園等公共施設の整備による、良好な居住環境の形成を行い、同時に温泉を有効に利用するための公益施設用地を確保することにより、温泉街としての秩序ある発展を図るため、平成12年度に用途地域と併せて土地区画整理事業の都市計画決定をし、平成14年度より工事に着手している。
課題
市民の生活環境整備、都市経営のための経済活力の確保のために温泉街の活性化が都市整備上の課題である。 ・薩摩川内市入来町の人口集積が最も進んだ地区であるが、無秩序な都市が形成され防災上危険であり生活環境整備の確立が必要がある。 ・地区内に市営浴場が2箇所あり、年間の入浴者数が合計20万人あり、この経済効果を温泉街で受け止め、地域振興の核に育てる必要がある。
将来ビジョン(中長期)
コンパクトに形成された市街地の中で安心して暮らせるまちづくりを形成し、市民が愛着をもって訪れると共に薩摩川内市の観光資源としての役割を果たす中心市街地の形成を図る。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
				基準年度		目標年度	
密集木造住宅	戸	地区内の既存木造住宅戸数	良好な居住環境の形成のため木造住宅の区画整理事業等による改善を目指す。	100	H17	60	H22
危険住宅	戸	急傾斜地崩壊危険箇所戸数及び釣尾川崖上住宅戸数	災害の危険性の高い急傾斜地崩壊危険箇所や釣尾川沿いの危険住宅の改善を目指す。	30	H17	20	H22
緊急車両の通れる道路割合	%	地区内の道路のうち緊急車両の通れる道路の割合	地区内の火災や地震等に備え、緊急車両の通れる道路の割合を指標とする。全線通行可能な道路を目指す。	0	H17	50	H22
温泉施設利用客数	万人／年	地区内の市営温泉利用客数	狭隘な道路の整備による温泉施設へのアクセスの改善に伴う市営温泉利用客数の増加を目指す。	20	H17	22	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(安全で快適な居住空間の形成) ・木造住宅が密集し防災上危険であるため、離合通行できる道路整備を行う。 ・急傾斜地崩壊危険箇所や釣尾川沿いの崖上住宅の解消による居住環境の整備を行う。	土地区画整理事業(関連事業)、道路事業(基幹事業) 一級河川釣尾川改修事業(関連事業)
整備方針2(温泉の観光資源としての有効活用) ・観光客の増加のために、温泉施設等を観光拠点・地域交流施設として整備すると共に商店街や住民と一体となった地域経済の活性化を行う。	土地区画整理事業(関連事業)、まちづくり検討会(提案事業)
・	

その他 ○事業計画案作成段階からの地区内住民の参画 まちづくりは、「地域が主役」であり、住民参画のまちづくりを行うにあたり、平成6年度から「まちづくり懇談会」の開催(計9回)や「まちづくり意識調査」等の実施による、温泉場地区のまちづくり方針への反映、平成9年度から「まちづくり推進協議会」の開催(計22回)の開催による、温泉場土地区画整理事業の計画立案への反映等により、自分たちのまちづくりに向けた意識が高まっている。 ○整備計画についての住民参画 メインの都市計画道路の整備計画(カラー舗装や石畳、街路樹の決定)や温泉施設の整備方針についても住民の意見を取り入れて整備を行う予定である。 ○継続的な住民参画 住民による道路、河川、公園等の清掃作業や植樹帯の花壇の維持・管理、公益施設用地を利用したイベント等の実施による継続的なまちづくりへの参加を推進していく予定である。
--

交付対象事業費	525	交付限度額	210	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

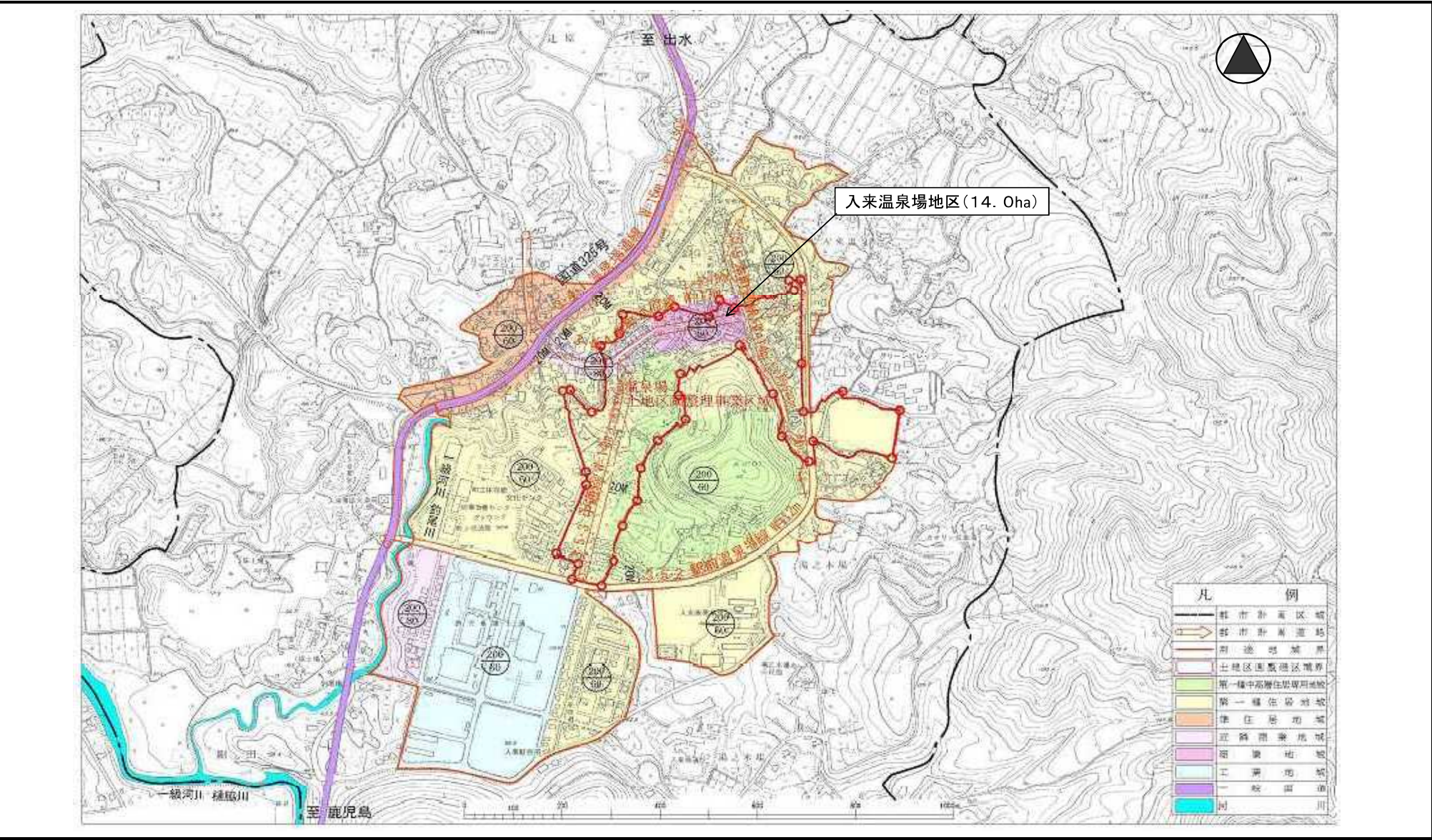
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路		区画道路(6-4)	薩摩川内市	直	20.0m	H12	H30	H21	H21	2	2	2		2
		区画道路(6-7)	薩摩川内市	直	270.2m	H12	H30	H18	H20	84	84	84		84
		区画道路(6-8)	薩摩川内市	直	152.6m	H12	H30	H21	H22	98	98	98		98
		区画道路(6-9)	薩摩川内市	直	168.2m	H12	H30	H20	H22	145	145	145		145
		区画道路(6-10)	薩摩川内市	直	96.1m	H12	H30	H21	H22	195	195	195		195
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		—			—									
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—			—									
高質空間形成施設		—			—									
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										524	524	524	0	524

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業														
事業活用調査		—			—									
まちづくり活動推進事業	まちづくり検討会	入来温泉場	薩摩川内市	直	—	H20	H20	H20	H20	1	1	1		1
合計		—			—					1	1	1	0	

[illegible]

都市再生整備計画の区域

入来温泉場地区(鹿児島県 薩摩川内市)	面積	14.0 ha	区域	薩摩川内市入来町副田の一部
---------------------	----	---------	----	---------------



入来温泉場地区(鹿児島県薩摩川内市) 整備方針概要図

目標	木造住宅が密集し、急傾斜地崩壊危険箇所を有する本地区を土地区画整理事業により良好な居住空間を形成するとともに、温泉街としての秩序ある発展を図る。	代表的な指標	密集木造住宅（戸）	100	(H17年度)	→	60	(H22年度)
			危険住宅（戸）	30	(H17年度)	→	20	(H22年度)
			緊急車両の通れる道路割合（％）	0	(H17年度)	→	50	(H22年度)

